

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」藤沢校		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 5日 ～ 2025年 12月 27日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 34
○従業者評価実施期間	2025年 12月 20日 ～ 2026年 1月 5日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 8日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	個別療育と小集団療育の組合せで、一人ひとりの個性や特性を生かし、様々な支援を通して自己肯定感を高め、発達・成長を促す支援を行っています。	引き続き、それぞれの特性を踏まえた支援を行い、保護者様のご要望を踏まえつつも、お子さま側の気持ちや特性の正確な分析を心掛け、お子さまが楽しく意欲的に参加できるよう支援していきます。
2	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われているか。	ご要望があれば、家族支援の提供（保護者様へのサポート）を行っています。 お子さまの活動の様子を見学して頂き、保護者様と指導員が会話をする機会を設け、支援終了後にフィードバックでの情報共有を行います。 園との関係機関連携も頻繁に行っています。	引き続き、子育てサポートや家族支援を積極的に行いながら、お話し出来る時間をより確保し、どのような目的をもって取り組んでいるかについても情報共有できるよう努めています。 より良い支援となるよう、引き続き、園との連携も重ねていきます。
3	こどもは安心感をもって通所していますか。	まずはきらりに来たいと思えるよう、好きなものを把握しながら支援に臨み、指導員全員とお子さまとの信頼関係を築いています。関係性を構築した後、アセスメントや保護者様の情報をもとに、さらに必要な支援を展開しています。消毒・清掃などの環境整備も見て、ご自身が大切にされている存在であることもお伝えしています。	感染症対策の、来所時の検温、手洗い・うがいを引き続き行います。保護者様との情報共有で、お子さまの状態を把握しつつ、ご様子に合わせて活動内容や支援方法を適宜調整しつつ、お子さまの気持ちに寄り添い、安心して活動できるよう努めてまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	非常災害の発生に備え、毎月テーマを決め、全職員で防災訓練を実施しております。防災訓練の計画・実施については、教室掲示を行い、ご参加頂いた児童の保護者様には様子をお伝えしておりますが、実施報告の不足と考えます。	毎月行う防災訓練の周知説明の不足と考え、感染症を6月・避難訓練を9月に防災訓練週間を設け、計画したいと思います。事業所内の掲示だけでは、皆様の目に留まる周知方法とならないので、LINEから全体発信を考えます。さらに、多くの利用者様に参加いただけるよう、開催日時を熟慮しながら進めたいと思います。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	以前行っていた保護者交流会は、感染防止の観点から開催を中断しておりました。 きょうだい向けイベントのご要望はないものの、限定的にきょうだいも一緒に参加できる時にご参加頂いたことがあります。 個別支援の形態上難しい面もあります。	ご要望がございましたら、保護者様負担にならないような交流を考え（感染症対策を含め）、あらためて周知してまいります。 きょうだい向けのイベントのご要望があるかも伺いしながら、家族間交流の機会が設けられるようであれば設定したいと思います。
3	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	個別支援では気にならなくても集団支援で狭さを感じる場面がありました。設置基準は満たされており、建物の構造上で仕方のない部分ではありますが、環境調整が課題です。入口が狭いため利用者の入れ替え時に若干混雑し、利用者様にご迷惑をかける場面がありました。	引き続き、パーテーションや机を動かして広さを確保したり、集中が必要な場面では区切った区間で支援する等、状況に合わせて環境調整していきます。 ・軽運動では種目ややり方を工夫して、より安全に配慮してまいります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」藤沢校				公表日		2025 年 2 月 15 日	
		利用児童数				34		回収数	
						34			
環境・体制整備		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	28	5	1	0	・事業所内のスペースを有効に活用されているが、十分とは言えない。少し狭い。 ・運動のカリキュラムもして頂き、こどもの活動には充分だと思います。 ・運動活動の際に、もう少し広いといいなと思うことがあります。	・法令を遵守したスペースを確保し、お子さまの活動に合わせて調整しております。 ・限られたスペースを有効活用しつつ引き続き、安全に配慮した空間をつくってまいります。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	32	2	0	0	・様々な専門知識を持った先生が多いので、いろいろ学べてありがたいです。 ・多過ぎず、少な過ぎず、ちょうどいいと思います。	・法令で必要とされている人数を配置しています。 ・引き続き、適切な人数を維持した上で支援を行えるように努めます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	6	0	1	・こどもにわかりやすい環境だと思いました。手を洗うところが低いと良いかと思いました。	・パーティションで区切ることで一人ひとりのスペースを確保しています。 ・設備に関しての不足部分は、補助する物を用意できるよう努めます。	
適切な支援の提供	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	32	2	0	0	・清潔で感染対策に配慮されていると感じます。 ・夏頃に排水口の匂いが気になった。 ・横で子供を見れるので良いです。	・日々の清掃・消毒・換気に努めています。 ・利用者様の特性や課題に合わせた支援スペースをご案内しております。 ・共有部分の匂いについては、対応を検討させていただきます。	
	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	33	1	0	0	・こどもの特性をととても理解してくれていて、苦手の変化や成長にも対応してくださってありがたいです。 ・しかし、先生によってはテンションが上がりがおちつきがなくなる。 ・長所をよくのびしてくるなと思います。 ・こどもの特性をととても理解してくれていて、安心してお任せできます。 ・成長と特性に応じて、臨機応変に支援内容を変えながらご対応くださっていると感じます。	・定期的に、ご要望に応じた家族支援を実施し、お子さまや保護者の方の困り感やニーズに合わせた個別支援計画を作成しております。また、特性等に応じた専門性のある支援の提供を心がけています。 ・職員の得意分野や資格などの背景から、様々な視点の意見を総合して、支援が提供できるようにしたいと思います。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	32	0	0	2	・合っていると思います。	・お子さまや保護者様の困り感やニーズに合わせた個別支援計画を作成します。また、計画に基づいた支援内容を計画し、保護者様と確認しながら支援を行っています。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	33	1	0	0	・週2回ですが、本当に良く息子を理解してくださってありがたいです。 ・成長度合いに応じて、細かく設定してくださっています。	・家族支援を 定期的に行い、保護者様のニーズをお聞きし、児童発達支援計画を作成しています。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	31	1	0	2	・細かく、具体的な支援内容が項目毎に設定されており、とてもありがたいです。 ・細かく分析して支援内容が設定されているなと思いました。	・5領域とのつながりを明確化した上で、分かりやすい、具体的な支援内容を設定するようにしています。 ・引き続き面談等でわかりやすく説明する機会を設定できるよう努めます。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	34	0	0	0	・適切だと思う。	・職員間の日々の情報交換を密に行い、共通理解をし、職員全体で支援プログラムの立案・支援実施を行っています	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30	2	0	2	・身体を動かすプログラム、ルールを覚えるプログラム、頭や考え方を使うプログラムなど多様で良い。 ・いつも少しずつ異なる内容で、座学も運動もバランス良くしてくださっています。	・発達段階や個々の成長をアセスメントし、支援計画に沿った支援内容について、随時検討する場を設けて、活動プログラムが固定化されないよう工夫しております。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	19	3	4	8	・今はまだありません。 ・通っている保育園との連携がとても心強いです。	・一人ひとりの状況を見て、校舎内での小集団活動などを組ませていただいております。 ・利用者様の守秘義務があるため、地域との交流は行っておりません。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	32	1	0	1	・分かりやすく、丁寧な説明をして頂きました。ありがとうございます。	・ご契約時に運営規程、支援プログラム、利用者負担等についてわかりやすくご説明できるよう努めております。	

保護者への説明等	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	33	1	0	0	・「児童発達支援計画」を示しながらわかりやすく説明して頂きました。	・保護者様との認識のずれがないよう、今後も丁寧な説明を心がけます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	3	1	13		・毎回の支援後のフィードバックを活用し、保護者支援、家族支援を提供しております。 ・ご要望があれば、研修会等も検討致します。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	32	2	0	0	・丁寧なフィードバックを頂いてとてもありがたいです。 ・最近の子どもの様子などを定期的に尋ねてくださっています。	・支援のフィードバックで情報共有を行い、共通理解ができるように努めています。 ・校舎内では見られないお子さまの様子をお伺いすることで、より適切な支援に繋げられるよう努めています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	33	1	0	0	・家族支援の時間を作って頂き、就学や悩みの相談をして頂きました。	・定期的な家族支援だけでなく、ご要望に応じて家族支援のお時間をお取りさせていただきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	31	2	0	0	・息子にも親にも寄り添って頂きありがたいです。	・お子さまだけでなく、保護者様にも寄り添えるよう、今後も努めます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	4	5	20		感染症対策で保護者会を中断していましたが、ご要望があれば開催する旨を、あらためて周知してまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	30	0	0	4	・フィードバック中に少し悩みを話したるすぐに家族相談の予約を取ってくださりとてもありがたかったです。	定期的な相談支援の他に、支援後のフィードバックや LINE、メール等でご相談をお受けし、家族支援をお取りしています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	32	1	0	1	・配慮されていると思います。	・可能な限り、情報伝達がスムーズに行えるよう配慮しております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	19	3	2	10	・LINEで前日連絡を頂けるのはありがたいです。	・月の予定確認や前日のご利用連絡をLINEを活用してご連絡させていただいております。 ・保護者様からのご要望等も支援に関わらずお受けできるように今後も努めます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31	2	1	0	・されていると思います。	・個人情報保護・管理する体制を整え、運用を規定し、全ての職員がそれを遵守し、適切な管理に努めています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	1	0	11		・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定しています。保護者様への周知・説明に努めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	2	0	18	・参加したことがない為分からない。	・訓練については、防災委員会による地震・火災・不審者・水害などを想定した避難訓練を行っています。 ・できるだけ多くのお子さまに参加いただけるよう、努めます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26	2	0	6	・思います。	・安全計画の周知だけでなく、安全への配慮を徹底してまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	2	0	11	・事故が発生したことは無いのでわかりませんが、会ってもしっかり説明して下さると思います。 ・まだそのような場面になったことがありません。	・そのような事案があれば、速やかな対応ができるようにしています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	33	1	0	0	・先生に対して安心感を持っているのがありがたく、先生方のスキルの高さに感心しています。 ・最近は緊張する事もなくなって楽しそうです。	・お子さまが安心して通所できるような環境づくりを今後も進めていきます
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	31	2	1	0	・嫌がらず通えています。 ・保育園より気に入ってます。 ・今日は「きらりの日だよ」と言って楽しそうにしています。	・お子さまが来所することで、楽しく過ごせるような環境づくりを今後も進めていきます
	29	事業所の支援に満足していますか。	31	2	1	0	・前年度、個別＋小集団を行わせてもらっていた為、45分のみだと少し短く感じてしまいます。 ・まだ半年ですが、親子で成長出来てとてもありがたいです。 ・通い始めてから変化があり嬉しい	・お子さまの様子やご要望に応じて、支援形態について検討させて頂いてますが、年度により小集団の組合せが難しいケースもございます。45分でもより一層の充実が図れるよう支援してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」 藤沢校			公表日		2025 年 2 月 15 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		届け出通りの支援スペースを確保できております。 利用者や支援内容によってのスペース作りを一人一人に合わせて設定しています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		届け出通りの人数で運営しております。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		バリアフリー化されています。利用者にわかりやすいようにイラスト表示など工夫しております。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々の清掃や支援後の消毒など、清潔を維持し安心して利用できるように努めています。 オープンスペースなので、活動に合わせて広さを調整することができます。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別の部屋はありませんが、スペースをパーティションにより区切り、活動場所を確保しています。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		適時、振り返りを行っております。また半年に1回、自己の目標の設定と振り返りを実施しています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所としての自己評価を行います。今後も職員全体で保護者のご意向を把握し、業務改善に努められるようにしてまいります。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		随時情報共有に努め、意見を業務改善に繋げられるように話し合いを設ける場合もあります。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在は行っていません。	必要に応じて外部評価を活用できればと考えています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月行われる法人内での研修に参加し、事業所間や職員間での資質向上を図っています。			
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		個別支援計画に基づいた支援内容を計画し、利用者様と確認しながら支援を行います。保護者様にも共有しています。 HPIに作成された支援プログラムを公表し、それを元に支援を行っております。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		多角的に情報を分析して総合的に支援計画を作成するよう努めております。今後もよりよい支援が出来るよう職員の知識や質の向上に努めてまいります。			
	13	児童発達支援計画を作成するには、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		サービス担当者会議等、支援の共有は活発に行います。話し合いが即座に持てない場合は社内ツールも使用しています。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画は職員間で共有し、計画に沿った支援を行っています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		統一されたアセスメントシートを使用し、定期的にアセスメントを行っております。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		5領域とのつながりを明確化した上で、1人1人の特性・興味に応じた、具体的な支援内容を設定しています。 定期的、要望に応じた家族支援に応じて、修正を行っています。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		個々の指導員の経験や資格など、得意分野に応じた支援を提供しております。支援について都度話し合ったり、場合によってはチームで取り組むこともあります。			

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		内容に変化を持たせたり、新しいことに挑戦する機会を作るなど工夫しております。お子さまの特性に合わせてプログラムを固定することもあります。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		お子さまの特性やニーズ、保護者様のニーズに合わせ、状況を見ながら個別、小集団療育を組み合わせています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		シフト制休みの為、必ずしもその日の支援前に打ち合わせの時間を取れておりません。前日や空き時間での確認の他、社内の連絡ツールを活用し話し合い以外での情報共有の工夫をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		業務終了時間までご利用頂くケースもあり、常にその日の振り返りを行うことは難しい状況です。社内の連絡ツールの活用や翌日以降情報共有の時間を設けるなどしております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		通常通りの業務の中で取り組んでいます。今後の検証・改善につながるような、適切な記録を取るよう努めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6ヶ月に一度以上モニタリングを行い、計画の見直しを行っております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者や専門的支援職員が出席するようにしており、その内容については職員間で情報共有も行っています。今後も連携などを通じて多角的な支援を行えるよう努めます。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保護者様のご要望に応じ、行政の発達支援室や療育センター、幼稚園・保育園、学校への関係機関連携の実施を行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者様のご要望に応じて、支援内容などの情報共有を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者様のご要望に応じて、支援内容などの情報共有を行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		保護者様のご要望に応じて、連携をしております	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	利用者様の守秘義務のため、現在交流する機会は設けておりません	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援後や支援中にも、適宜保護者様とお話する時間を設け、発達の状況や課題について共通理解を図っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ご要望がある際に、適宜行っております。今後もご要望に合わせて提供してまいります。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		丁寧な説明を心がけております。運営規定については事業所内に掲示しております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		定期的なモニタリングから、保護者様と面談を行い、ご確認の上で個別支援計画を作成し支援を行っています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画に保護者様の同意を頂いた上で支援を行っています。	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者様からのご要望に応じ、月4回までの家族支援を行っております。相談支援に至らないまでも支援後にお話頂き、必要であれば助言と支援を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		感染症対策で中断していましたが、保護者様のご要望に応じて対応させていただきます。あらためて、周知してまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		適宜、対応・周知しております。必要に応じて家族支援をお取りするようにしています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		月ごとの予定確認や利用前日にはLINEにて必ずご連絡させていただいております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		ルールに則り適切な情報管理をしております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		様々な連絡手段を用いて、利用者様に合った方法で確実に伝わったことを確認するようにしております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	利用者様の守秘義務のため、現在地域の方を招待する機会は設けておりません。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定しています。月1回の防災訓練を行い、計画・実施報告を掲示しております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		初回の面談時に把握するようにしています。また支援後のFB時や家族支援などを通して、適時情報共有・更新しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	食事の提供を行っていないため、行っておりません。情報としては保護者様より共有頂いております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画の作成・研修や訓練を行っています。研修に参加出来なかった職員に対しては情報共有を適宜行っております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		玄関にマニュアルの掲示・周知を行っております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		随時、ヒヤリハット事例を記入・共有しております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会が組織化されており、研修を全職員が受講・共有されるようにしております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束の基準を重要事項説明書に記載し、契約時に保護者に説明を行っています。	